

平成 25 年 6 月 30 日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒 039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 「若き花」 (紙・木版画 1941 年デッサン社主催展出品)

「鷹山宇一の木版画」

鷹山宇一の初期の作品には木版画が多く見受けられるが、鷹山の木版画の多くは、版画の持つ複数生産が可能であるという点を否定して、木版画であるにも関わらず、オリジナルが1点しか存在しない。

鷹山は、版画が他の絵画と比べ、一段下の存在に見られているのは批判者が芸術家と職人とを混同して考えるためであるとし、芸術品として尊重される版画はただ一枚制作すれば足りると述べている。

鷹山が木版画を制作していた時代というのが、版画を実用的な絵画の複製手段から、そのもつ創作的性格や芸術性を前面に押し出そうという「創作版画運動」が活発であった時代だった。

そういった版画における当時の状況を鑑みた時、鷹山の木版画に対する姿勢は、版画の持つ芸術性についてのひとつの回答と取ることができる。一部の版種をのぞけば、版画は複数枚オリジナルを制作することができるメディアである。だが、鷹山は版が持つ芸術性の特化のため、あえてそれを行わなかった。

鷹山にとって版は、あくまで絵画を制作するための手段のひとつであって、版画にすることそのものが目的ではなかったのだ。

我々が生きる社会は、情報が溢れ、技術が進歩し、個人として出来ることが多様になった。だが、それ故に時として自分がなすべきことを見失ってしまう。

何のために何をすべきかということは、複雑高度化された社会でこそ、共有して考えていかなければならない問題だといえる。そのことについて皆で考える方法として、鷹山の版画を鑑賞することもできるのではないだろうか。

(学芸員 奥山庸子)

鷹山宇一記念美術館友の会

平成25年度通常総会開催



総会で挨拶する盛田駿造会長

鷹山宇一記念美術館友の会平成25年度通常総会が平成25年6月15日(土)午後2時から開催。平成24年度事業報告・収支計算書及び平成25年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認議案などすべての議案が原案どおり可決され、本年度の事業体制が整いました。なお、総会資料を別添のとおり同封致します。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

鷹山宇一記念美術館所蔵の画集&写真集ご利用のお願い



購入図書のご紹介

鷹山宇一記念美術館友の会通常総会で購入の承認を頂いた「週刊朝日百科」国宝の美(全50巻 朝日新聞出版)、小学館創業90周年記念企画「日本美術全集」(全20巻)を紹介いたします。「国宝の美」は、日本の美の代表作として是非とも伝えたい、精選した150点を全50冊で紹介しています。「日本美術全集」は、全20巻のうち、第1回配本(第2巻 法隆寺と奈良の寺院)、第2回配本(14巻 若冲・応挙、みやこの奇想)、第3回配本(第13巻 宗達・光琳と桂離宮)は、美術館にお届け致しました。今後発行の

の都度美術館にお届けして行きますのでご利用下さい。

美術館には、この他にも、週刊朝日百科「美術館を楽しむ」、週刊「西洋絵画の巨匠」、週刊「世界の美術館」、「原色日本の美術」、「現代日本美術全集」、写真集「古寺巡礼・土門拳」などの画集や写真集がランプ館そばの図書コーナーに用意しておりますのでご利用下さい。

企画展、常設展をご家族、ご友人とご鑑賞されたあと、緑の芝生を眺めながら目を休め、美術館の蔵書もご鑑賞いただければ幸いです。

美術館と友の会の発展のためにご利用をお願い申し上げます。(照井)



ランプ館前の書籍コーナー

現代女流作家展 から○○○○○○○○ ○○○○ Report

青森放送株式会社様のご共催を頂き、4月27日から「現代女流作家展」を開催して参りました。

現代に生きる14人の画家たちの作品は、女性ならではの感性と、大作の数々、圧倒的な量もあつてかご来館された方々から多くの感想をいただくことができました。

お越しくくださった皆様、本当にありがとうございます。
ここでは会期中の出来事をピックアップしてご紹介します!!

4/29(月祝) 出品作家の お一人・林美枝子先生ご来館!



作品の前で撮影。なんと茅ヶ崎からお車でお越しくださいました!翌日は下北へ赴かれたそうで、そのフットワークに感嘆いたします。

4/26(金)「現代女流作家展」開催前日、開催式を行いました



当財団福士孝衛理事長の挨拶にはじまった開催式では、青森県立美術館館長・鷹山ひばり様、七戸町長・小又勉様、七戸町議会議長・白石洋様よりご祝辞を頂戴し、開幕を祝いました。

テープカットには成川美術館館長成川實様、RAB十和田支局長・竹内愛一郎様もご参加くださいました。

5,000人突破!! 現代女流作家展 来館者数



6/14(金)に特別展の来館者数が5,000人目を迎えました。
記念すべき5,000人目のお客様は弘前市から来られたお二人様で、美術館へは展覧会の度にいらしてくださっているとのことでした。

七戸町商工会女性部主催七戸つつじまつり観光ツアーの皆様。美術館テラスにてお呈茶の様子。約70名の方がご来館されました。



毎年恒例のお呈茶が、今年も茶道裏千家七戸会の方々のご協力のもと、おこなわれました。盛田牧場に伝わる原敬氏よりいただいた火鉢に七戸の花、バラとカラーの花を入れテーブル代わりに、銀製のティーポットでの一服は、いらした方の心を和ませてくださいました。
裏千家七戸会の皆様、ありがとうございました。

5/19(日)「茶道裏千家七戸会」 によるお呈茶が おこなわれました

こいのぼり おこいのぼり



5月6日から5月末まで、美術館内でワークショップ「こいのぼりをつくろう!」を開催いたしました。

開催期間中であればいつでも参加OK・申込み不要・参加費無料!あるもので自由に自分だけのこいのぼりをつくらうという趣旨のもと、多数のこいのぼりが生まれました。もちろん!こいのぼりですのでつくって終わりではありません。
できあがったこいのぼりは、すっかり暗くなった時間になると!美術館の壁をスクリーンにして空へ昇っていきました。



※この時使用した映像は、現代女流作家展開催期間中、館内にて放映させていただきます。

●美術館日誌●

【3月】1日(金)七戸高等学校卒業式
 船山館長出席5日(火)絵画監査8日(金)七戸中学校卒業式
 船山館長出席。県庁総務部学事課へ船山館長出張14日(木)七戸教福援助基金運営委員会(七戸庁舎)船山館長出席15日(金)七戸養護学校卒業式
 船山館長出席。青森県立美術館大哺乳類展内覧会(船山館長、奥山学芸員出席)16日(土)大哺乳類展開会式(船山館長、奥山学芸員出席)。
 理事会19日(火)しちのへ春まつり連絡会議(七戸庁舎)佐藤事務員出席
 22日(金)天間西小学校卒業式
 船山館長出席23日(土)奨学金授与式
 船山館長出席。評議員会28日(木)絵画寄贈

【4月】8日(月)七戸中学校入学式
 船山館長出席10日(水)アドバン企画撮影のため来館。教育委員会来館
 絵馬引き継ぎ(奥山学芸員)11日(木)県庁総務部学事課へ船山館長出張14日(日)七彩会油画教室開催
 16日(火)友の会JTBと打ち合わせ。洋画家平野四郎氏と大宮にて打ち合わせ(船山館長、奥山学芸員)17日(水)二科春季展挨拶(船山館長、

奥山学芸員)20日(土)友の会会計監査会
 23日(火)陸奥新報社鈴木文化部長来館
 26日(金)「現代女流作家展」開催式、レセプション
 27日(土)十和田市現代美術館「フラワーズ」オープニングセレモニー
 船山館長出席

【5月】6日(月)WSこいのぼりをつくろう活動開始
 8日(水)監査会。三役会。観光協会総会へ船山館長出席
 10日(金)県庁総務部学事課へ船山館長出張
 11日(土)理事會12日(日)七彩会油画教室開催
 16日(木)県町村議会議長会来館(理事・幹事11名)
 17日(金)野辺地高校インターシップの件で来館
 19日(日)お呈茶
 21日(火)鷹山賞協賛先へ挨拶回り(七戸町内)船山館長、奥山学芸員
 22日(水)南部藩児童交流事業打ち合わせ。新たな青森・十和田湖広域観光協議会(富士屋ランドホール)佐藤事務員出席。
 七戸十和田駅開業効果活用推進委員会へ船山館長出席
 25日(土)鷹山宇一記念美術館(名誉館長鷹山増子氏の葬儀)
 26日(日)評議員会
 31日(金)WSこいのぼりをつくろう活動終了



ありがとうございます

◆平成25年3月28日、篤志家の方より、鷹山宇一・北村西望・上泉華陽の作品の寄贈をうけました。
 6月22日からの常設展で一部の作品をご紹介いたしますので是非ご鑑賞くださいませ。

◆現代女流作家展出品作家のひとりである鳥山伶先生より、ご自身の画集や映像集をいただきました。今後の資料として大切に活用させていただきます。



自由な表現★光る個性★豊かな発想
第13回鷹山賞児童作品展
作品募集!!

今年度より、青森県全土の小中学生に作品を公募することとなりました「鷹山賞児童作品展」は、郷土の画家・鷹山宇一を顕彰するとともに、子どもたちに制作体験を通して豊かな感性を養い、自由な創造の喜びを味わってもらえたら…と願い、開催する絵画コンテストです。

テーマは自由。四つ切り大画用紙以内の大きさで、平成25年度制作の平面作品を募集します。締め切りは、9月15日(日)。

二科会絵画部会員の浜田進先生を審査員、10月下旬に審査会を行い、鷹山賞を頂点とする入賞者(概ね30名)には、賞状と副賞を授与いたします。このほか入賞者には賞状を贈ります。

入賞・入選作品は、2013年11月10日～2014年1月26日鷹山宇一記念美術館に展示し、県内外の多くの方々にご紹介します!

詳しくは、美術館までお問い合わせください。皆さんのご応募をお待ちしております!

平成25年度第一回国内研修旅行「岩手県立美術館・若沖が来てくれました」プライス・コレクション 江戸絵画の美と生命「展」の研修旅行記をお寄せ頂きましたのでご紹介いたします。

研修旅行に参加して

十和田市 石川 みほ

研修旅行のご案内をいただいて、嬉しく参加させていただきました。メインは若沖でしたが江戸絵画の楽しさをたっぷり堪能することができました。

展示は第七章まででありまして、第一章は「ようこそプライスワールドへ」。ここではユーモラスな作品が沢山あり、例えば「猿図」は猿がうらめしように蜂を見上げている。「達磨遊女異装図」はだるまさんと遊女が着物を取り替えている。「百福図」はおたふくさんが百人いる、など。長沢芦雪の「白象黒牛図屏風」は六曲一双の大きな屏風で見応えのあるものでした。第二章は「春夏秋冬」で植物や小動物、山川等の繊細で美しい情景表現。第三章は「プライス動物園で、劇的な表現の虎が多く、ライオン、馬、らくだその他鳥類あり。第四章は「美人画」で「立美人」、「雪中美人」など。第五章「話きかせて」では「源氏物語図屏風」や「義経図屏風」など。第六章「若沖の広場」は鳥のほかに鶴の凛

とした姿が美しい「鶴図屏風」に見せられました。第七章は、「生命のパラダイス」として奇想天外な「鳥獣花木図屏風」です。デフォルメされた動物たちは不思議に生き生きしています。考えられない小さな柀目には更に彩色が施されていて驚きでした。プライスさんのお陰で日本の宝を見させていただきました。ありがとうございました。



岩手県立美術館から岩手山を望んで

★ご意見・ご要望をお待ちしています。

皆様の会報です。友の会事業全般、研修旅行に関するご意見、ご要望、お便り、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願い

平成24年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。新年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様喜んで頂けるよう研修旅行、講演会などを企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。なお、更新手続きは美術館窓口で随時行っておりますのでよろしくお願い致します。

○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ② 海外美術館研修旅行(第6回海外研修旅行 企画中)
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

○特別会員

年会費 1万円
特典 ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

○賛助会員

年会費 2万円
特典 (個人・法人) ① 会員証提示に加えて

- ① 個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
 - ② 新規加入の方に画集1冊贈呈
 - ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈
- ◇ 詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

◎お知らせとお願い

★会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員となった方は、翌々年の3月31日までの会費となります。

★会員の方で企画展の監視ボランティアにご協力出来る方は美術館までご連絡下さい。

編集後記

会報第71号をお届けします。本号も会員の方からステキな研修旅行記をお寄せ頂きお届けすることが出来ましたこと感謝申し上げます。新年度においても会員各位のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。(照井)

「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行8日間」

日 程 表

- 1日目** 平成26年5月9日(金)
午後東北新幹線で出発→成田空港着→各自休憩・夕食
21:55 AF277便で空路パリへ [機内泊]
- 2日目** 5月10日(土)
パリ着03:50→休憩、朝食後乗り継ぎで
10:20サンクトペテルブルクへ→15:35着後ホテルへ
[サンクトペテルブルク泊]
- 3日目** 5月11日(日)
エルミターージュ美術館鑑賞(ゴールデン・ルーム入場)
[サンクトペテルブルク泊]
- 4日目** 5月12日(月)
午前エカテリーナ宮殿観光、午後ヒョートル夏の宮殿の庭園と仕掛け洞窟観光 [サンクトペテルブルク泊]
- 5日目** 5月13日(火)
サンクトペテルブルク市内観光
16:30AF1053便でパリへ→17:55パリ着後ホテルへ
[パリ泊]
- 6日目** 5月14日(水)
ルーヴル美術館鑑賞。フリータイム、オフショナルツアー
をお楽しみ頂けます。市内レストランで夕食後、空港へ
23:25AF278便で帰国の途へ [機内泊]
- 7日目** 5月15日(木)
18:00成田空港着。成田エクスプレスで都内へ
[都内泊]
- 8日目** 5月16日(金)
午前中フリータイム。午後東北新幹線で帰郷、めでたく解散



エルミターージュ美術館外観
イメージシ

友の会設立20周年記念事業として第6回海外研修旅行「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行8日間」をご案内いたします。

世界三大美術館のうち、エルミターージュ美術館とルーヴル美術館という2大美術館を鑑賞するオリジナル企画ならではの美術紀行です。

会員相互お誘い合わせの上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

○ご旅行代金 349,000円

(燃油サーチャージは含みません)

○募集人員 35名(最少催行人員:20名)

○募集締切 平成25年12月27日(金)

○説明会 平成26年2月中旬(予定)

○詳細は、別添パンフレットをご覧ください。

出雲大社と足立美術館の旅3日間

日 程 表

- 1日目** 平成25年9月17日(火)
9:00貸切バス七戸南公民館発→9:30七戸十和田駅発
→12:35青森空港発→羽田空港→出雲空港15:35着
→島根ワイナリー→日御碕の夕日→夕食(ワイナリー)
→出雲市内ホテル泊
- 2日目** 9月18日(水)
ホテル朝食後→平成の大遷宮・出雲大社→昼食
→足立美術館→玉造温泉ホテル泊
- 3日目** 9月19日(木)
ホテル朝食後→ぐるつと松江 堀川巡り(遊覧船)
→松江市内観光(フリータイム)→島根県立美術館
(見学/昼食)→16:30出雲空港発→羽田空港へ
20:10羽田空港→21:25青森空港着
※貸切バスで七戸町、十和田市、八戸市方面へ



「出雲大社」
イメージシ



足立美術館HPより
「紅葉(こうよう)」
作 横山 大観
(部分)

友の会設立20周年記念国内研修旅行特別企画第2弾として、初秋の山陰をお楽しみいただける「出雲大社と足立美術館の旅3日間」をご案内いたします。

会員相互お誘い合わせの上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

○ご旅行代金 129,000円

○募集人員 25名(最少催行人員15名)

○募集締切 平成25年7月31日(水)

○説明会 平成25年8月下旬予定

○詳細は、別添パンフレットをご覧ください。